

科目名	一般教養B1							年度	2024
英語科目名	Art							学期	前期
学科・学年	演劇スタッフ科 1 年次	必／選	必	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	山田 素子		教員の実務経験		有	実務経験の職種		教員	
【科目の目的】									
舞台芸術だけではなく、アート作品に触れ、アーティストが人々に与えた影響を学び、様々な視点から芸術を考えることを目的とする。									
【科目の概要】									
音楽や絵画などを取り入れ、芸術を広く知り、自分の見解や意見を述べるなど物事を深く考えることにつなげる。									
【到達目標】									
アートから何を感じるか自分の意見や考えを持てること。 物事を普段とは違う角度から考え、疑問を持てるようにすること。									
【授業の注意点】									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい		レベル3 ふつう		レベル2 あと少し		レベル1 要努力	
到達目標 A	この授業の目的を理解し、舞台だけに とどまらず、芸術全般を 学ぶことに興味が わいた			この授業の目的を 理解できた				この授業の目的を 理解していない	
到達目標 B	芸術作品に触れ 自分の意見や 考えを素直に 人に伝えることが できる			芸術作品に触れ 自分の意見や 考えを持てる				芸術作品に触れ 自分の考えが 浮かばない	
到達目標 C	授業を通して 芸術全般に興味を 持ち、今後自分でも 多くの芸術作品に 触れたいと思うよう になった			授業を通して 芸術全般に興味を 持つことができた				舞台芸術以外の アート作品に 興味をもつことは 難しい	
到達目標 D	レポート課題を 期日までに 提出した 評価はS			レポート課題を 期日までに 提出した 評価はA				レポート課題を 提出した 評価はB以下	
【教科書】									
【参考資料】									
必要に応じて随時配布									
【成績の評価方法・評価基準】									
授業態度・レポート課題									

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		一般教養B1			年度	2024
英語表記					学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	
1	前期の授業	前期の授業について		自己紹介	コミュニケーションを取る	
				今後の授業	今後の授業内容について	
2	素晴らしい作品とは	素晴らしい作品とは		自画像	素晴らしいと思う作品を考える	
				自画像	素晴らしいと考える理由を考える	
				振り返り	振り返り	
3	リアルについて考える	リアルについて考える		スケッチ	サイコロを描く	
				リアル	リアルとは	
				振り返り	今日学んだことの振り返り	
4	現代アートを考える	現代アートを考える		ピカソ	キュビズムを考える	
				現代アート	現代アートを考える手がかり	
				振り返り	今日学んだことの振り返り	
5	アートの見方	アートの見方		絵画	感じたことからのストーリー作り	
				アーティスト	アーティストと鑑賞者について	
				振り返り	今日学んだことの振り返り	
6	想像する	想像すること		想像	想像することとは	
				水墨画	水墨画から考える	
				振り返り	今日学んだことの振り返り	
7	アートの常識について①	アートの常識について		芸術家	フランス芸術家について	
				レポート	レポート課題提出	
8	アートの常識について②	アートの常識について		芸術家	アメリカ芸術家について	
				レポート	レポート課題提出	
9	アートの仕分け①	アートの仕分け①		ポップアート	ポップアート	
				まとめ	振り返り	
10	アートの仕分け②	アートの仕分け②		ポップアート	有名な芸術家	
				まとめ	振り返り	
11	アートの仕分け③	アートの仕分け③		アートの仕分け	前回までの復習	
				パフォーマンスアート	パフォーマンスアートについて	
				まとめ・質疑応答	復習	
12	アメリカのカルチャー	アメリカのカルチャー		カルチャー	カウンターカルチャー	
				カルチャー	ヒッピームーブメント	
				カルチャー	文化とファッション、音楽について	
13	アートとフェミニズムジェンダー	アートとフェミニズムジェンダー		芸術・音楽	女性アーティストについて	
				芸術・音楽	フェミニズム・ジェンダー	
				まとめ・質疑応答	復習	
14	レポート課題	総まとめ		レポート課題	レポート課題提出	
15	総まとめ	総まとめ		総まとめ	いままでの授業について	
				質疑応答		
				今後について	芸術との関わり方	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等

